

第 39 回大会概要報告

2017/12/07

全国レディース委員長 澁川貴子

寒気きびしき折柄、あわただしい師走となり、何かとご多用のことと存じます。全国レディーステニス大会には日頃よりお気にかけていただき、感謝申し上げます。

昨今、日本女子テニス連盟会員の高齢化のみならず、テニスを平日行う主婦層の減少、テニスクラブや公営コートの不足等、今大会に挑戦いただける環境は年々厳しさを増しております。

しかし、その中であって、未来を信じて活動してきていただいた先輩方の思いを次世代につなげていくために、現会員以外への呼びかけや子供達、家族への働きかけを、大会自体の成功とともに、全国レディーステニス大会は果たしていく使命があるとも思っています。常に、今、何ができるのかを念頭に置き、委員一同で活動をしています。

今大会は、3 大会ぶりに好天に恵まれました。そして、大会初日、「目指せ！昭和館！」を合言葉に、会員数の少ない地域の健闘が目立ちました。初日の夜、充実した様子で昭和館に宿泊に行くチームの姿は 2 日目以降の熱戦の期待を感じさせるものでした。一方、初日に無念の涙をのんだチームも、2 日目の親睦会・クリニックにご参加いただき、地域に戻った時に、この大会の広がり伝えてくださるものと思いました。2 日目から全て 2-1 の勝利と逆転に次ぐ逆転と接戦を制した千葉県が 6 回目の優勝を果たし、決勝まで磐石の強さを見せた大阪府が準優勝、フレッシュな勢いのまま 3 位入賞を得た三重県、そして連覇は果たせませんでした。ベスト 4 に神奈川県が入りました。

来年度は、40 回の記念大会となります。繰り返しとなりますが、ここまでの道のり、女性のテニス界の発展と、次世代への働きかけを絶えず続けていただいた先輩方の思いを心に刻み、これからのテニス界を支えていく大会で有り続けるために、全国レディース委員会一同力を尽くしたいと思っています。

来年の記念大会が多くの方々的心に残るものになるように実現に向けては努力中ですが、またご案内をさせていただきますので、ご協力を宜しくお願いいたします。

*TENNIS PLAY&STAY、審判研修会、審判員募集も 2018 年度も引き続き行います。支部の皆さまへの呼びかけもお願いいたします。